

「日々の支援を通じてノーマライゼーションを深く考えてみた」

○発表者名 社福) 祥和会 祥福園 : 生田将司  
共同研究者名 社福) 祥和会 祥福園 : 青木隆、坂田良治

## 1. 問題提起

ノーマライゼーションの理念は、障害のある人が地域社会の中で健常者ととともに暮らし、共に活動できることを目指すものである。しかし、依然として多くの障害者が入所施設で生活しておりノーマライゼーションの実現にはさまざまな課題が存在している。これは当施設とて例外とは言えない。入所施設は、障害のある人にとって一定の支援や医療ケアを受けられる場である一方で、社会との分断を生みやすく個々の自由や選択の機会を制限する要因ともなり得ると一般的に考えられている傾向がある。

まず、入所施設の最大の問題点は、障害者が地域社会から切り離されてしまいがちだということである。施設の多くは、一般の人々と日常的に接する機会が限られている。その結果、施設の利用者は社会とのつながりが希薄になりがちで地域の一員としての実感を持ちにくくなっていると考えられる。また、一般市民にとっても障害者と関わる機会が少なくなるため、障害者への理解や共生の意識が十分に育ちにくいという悪循環が生じている。

大規模な施設では個別のニーズに対応しにくくなりがちでもあり、画一的な支援になり易い傾向がある。多くの施設では集団生活が基本となるため、起床時間や食事の時間、入浴の順番など、日常のスケジュールが一律に決められている場合が多いのが現状。

これは、ノーマライゼーションの理念である「個人の尊厳」や「自己決定権」に反する状況を生み出しかねない。

## 2. 目的

重要な目的の一つは、障害者のQOLの向上である。施設内での生活で一律に管理的な支援がなされてしまうと、個々の選択の自由が制限されてしまう場合がある。そのため、利用者が自分の意思で日常生活を決定できるような仕組みを作る必要がある。例えば、食事のメニューを選べるようにする、外出の機会を増やす、個室のプライバシーを確保する、やりたいことが自由にできるなどの取り組みが必要。生活の自由度を高めることで利用者がより快適に過ごせる環境を整える。

自立を支援することも大きな目的の一つである。入所施設に長くいることで生活スキルや社会的な適応能力が十分に育たないケースがあり、退所後の生活に困難を抱える人も少なくないとのことである。そのため、施設内で段階的な自立訓練を行い、将来的にグループホームや一般住宅での生活に移行できるように支援しなければならない。後で述べる方法と重複するが、例えば、金銭管理のトレーニングや、調理や掃除などの家事スキルの習得、職業訓練を通じた就労支援などが挙げられる。それらのスキルを習得するには計画を立てスローステップで行うようにして利用者様にとって無理にならず負担が少ないように支援しなければならない。

## 3. 方法

日常生活スキルの向上を支援することが欠かせない。入所施設では食事や掃除、洗濯などの日常生活の多くを職員が率先して行ってしまうことが多くなってしまいがちで、利用者が自分で生活スキルを身につける機会が少なくなってしまうことがある。しかし、地域で自立した生活を送るためには、基本的な家事スキルや健康管理、金銭管理の能力が必要である。そのため、施設内で自主的に食事を作る機会を増やしたり、買い物や公共交通機関の利用方法を練習したりするなど、日常生活のトレーニングを積極的に行うことが効果的であると考


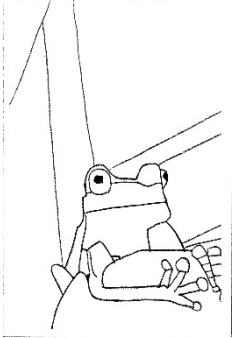


## 祥福園A

えられる。また、利用者が自分で判断し、選択できる場面を増やすことで、自主性や自己決定能力を育てることができる。

地域社会とのつながりを強化することも重要な支援方法の一つ。入所施設にいる利用者は、どうしても地域社会との接点が少なくなってしまう。しかし、社会の一員として生きていくためには、地域の人々との交流が不可欠。そのため、施設外での活動を積極的に増やすようにして地域のイベントやボランティア活動に参加できる機会を提供する。しかし、いずれも一気に行っていくことは利用者にとって大きなストレスになりかねないので、今できることや得意なことを伸ばしていくことを手始めに継続した支援をしなければならないのではないかと考えた挙句、当研究に協力された利用者においては、

- ・絵を描くことが好きで得意なので、そのスキルを伸ばしつつ社会とのつながりが保てるように支援をする。
  - ・作成した作品に付加価値を見出し商品化して販売。それが販売された分の報酬を得る。
  - ・新しい作品作りに挑戦する。
- 以上のことについて支援をした。

### 4. 成果・課題

作業環境の改善と作風の変化	変更前	変更後
<p>狭い座卓で作業していたところ、足への負担軽減と資料等広げるスペースの改善として、テーブルと椅子で作業ができるように改善。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>これにより、長時間の作業が可能になり、それまでデッサンだけで終了していたところ、着色に挑戦することができるようになった。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>

その他、美術館へ通い作品を観覧するとともに社会とのかかわりをもつように試みる事ができた。作品を商店で販売し、その販売店に赴き店主と面会。これらを通じて以降の作品を楽しんで制作することができるようになってきた。

社会とのつながりは今のところまだ希薄であるため、これからも作品作りを通じて社会の一員としての実感をもってもらえることができるように支援していく必要があると感じた。



祥福園

障害者支援施設

祥福園

研究テーマ ノーマライゼーション

かがやきユニットチーム①

研究者 = 生田、青木、坂田

発表者 = 生田将司注ポスター

日々の支援を通じて  
ノーマライゼーションを  
深く考え**てみた**

## 利用者様の紹介

40歳代 男性

自閉スペクトラム症(ASD)

支援区分5

言語コミュニケーションは苦手

絵を描くことができる

## ノーマライゼーションとは

障害のある人もそうでない人も  
公平な社会生活を

送れるようにする

という考え方



※顔出しは、ご本人様ならびに保護者様の承諾済み

本当に利用者様の



この研究発表は、  
ノーマライゼーションを  
少し逆説的な見解も含めた報告

気持ちになってみて

もしも、  
ノーマライゼーションを  
あまり理解しないままに  
支援をした場合

大丈夫？

1. 「普通」の  
押し付けに  
なっていないか？



普通ってなんだろうね？

社会が求める「普通」に  
合わせることがプレッシャーになる

自分らしい生活の


自由を奪われる？

可能性？


社会で普通とされることが  
必ずしも全ての人の人にとって  
望ましいこととは限りません

ベングト・ニイリエ氏が提唱

ノーマライゼーションの8原理

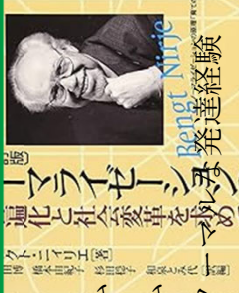


ノーマライゼーションの8原理

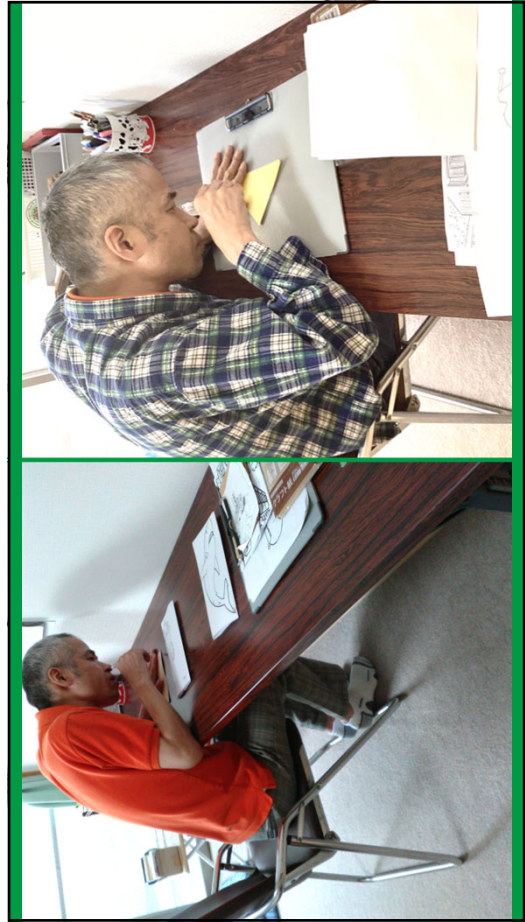


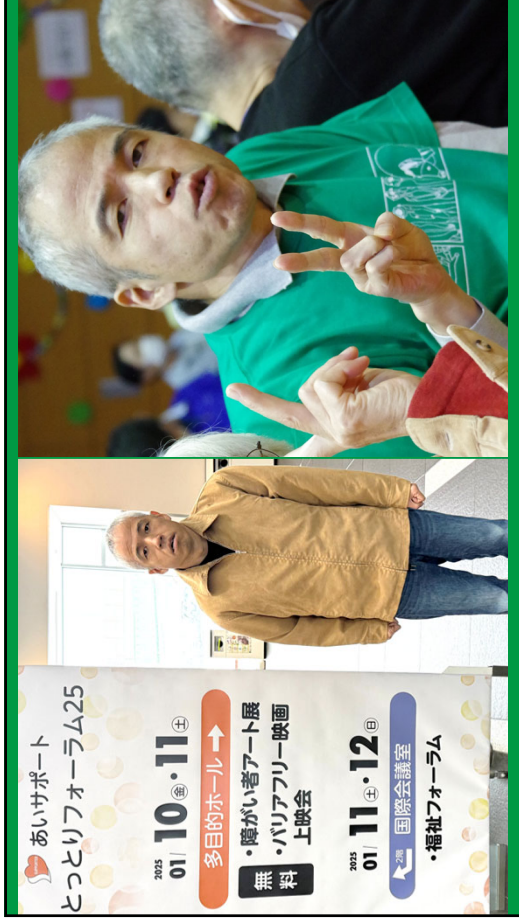
- ① 一日のノーマルなリズム
- ② 一週間のノーマルなリズム
- ③ 一年間のノーマルなリズム
- ④ ライフサイクルにおけるノーマルなリズム
- ⑤ ノーマルな個人の尊厳と自己決定権
- ⑥ ノーマルな性的関係
- ⑦ ノーマルな経済水準とそれを得る権利
- ⑧ ノーマルな環境形態と水準

**ノーマライゼーションの8原理**



① 一日のノーマルなリズム  
 ② 一週間のノーマルなリズム  
 ③ 一年間のノーマルなリズム  
 ④ ライフサイクルにおけるノーマルな関係  
 ⑤ ノーマルな個人の尊厳と自己決定  
 ⑥ ノーマルな性的関係  
 ⑦ ノーマルな経済水準とそれを得る権利  
 ⑧ ノーマルな環境形態と水準





2. 「違い」を前提にした  
平等になっているか？

違い

同じ

すべての人が「同じ」で平等であるべき？

ノーマライゼーションの真意は、

「違い」を尊重しながら平等を実現すること

それぞれの違いを認め

必要なサポートを提供する



障害自体が持つ

価値や新たな視点を

積極的に評価



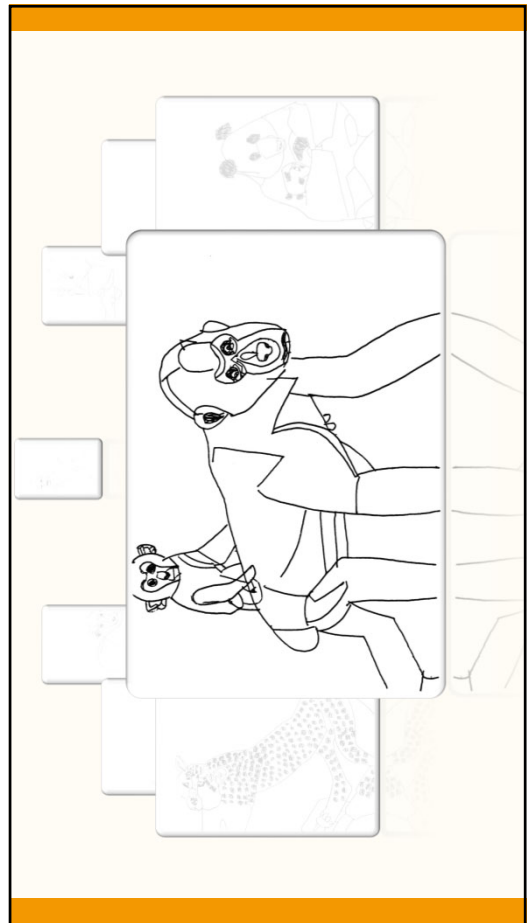
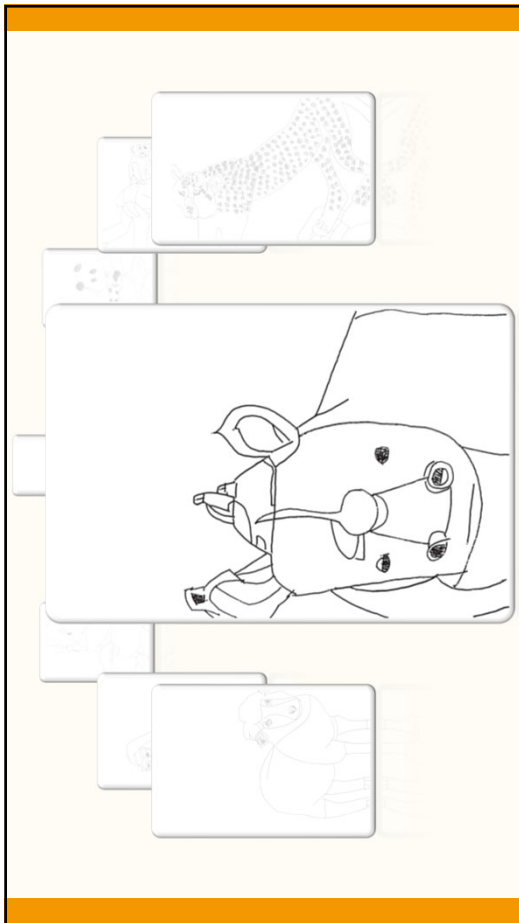
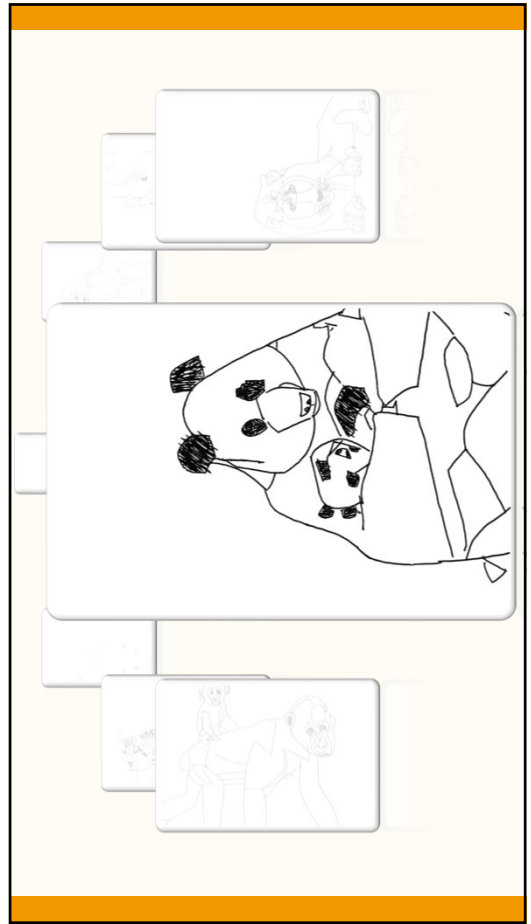
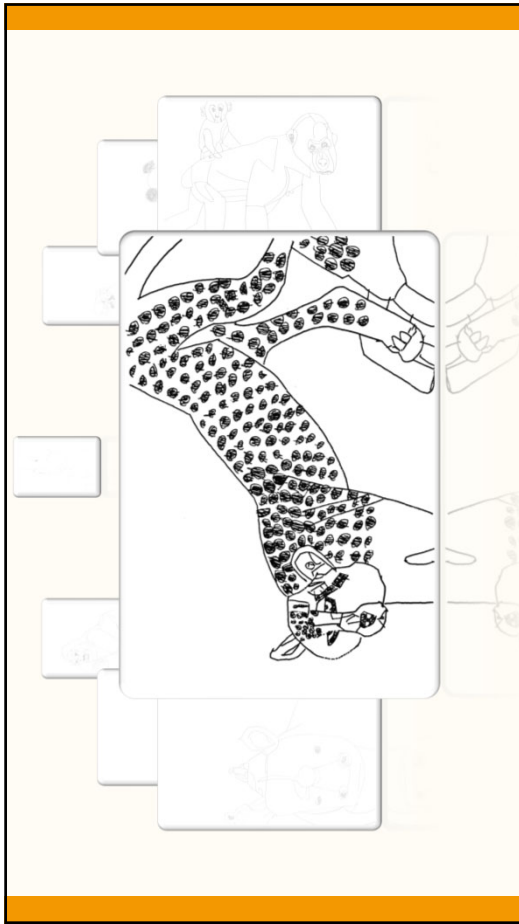
ノーマライゼーションの

さらなる進展

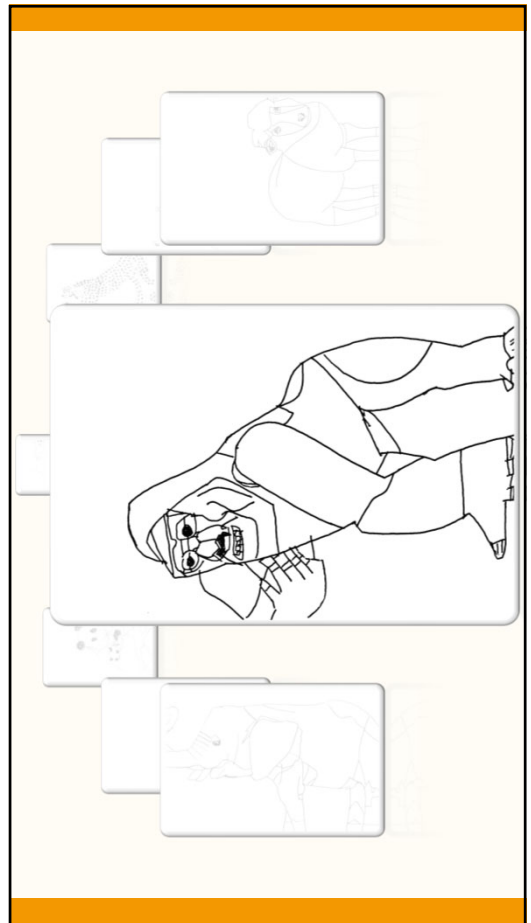
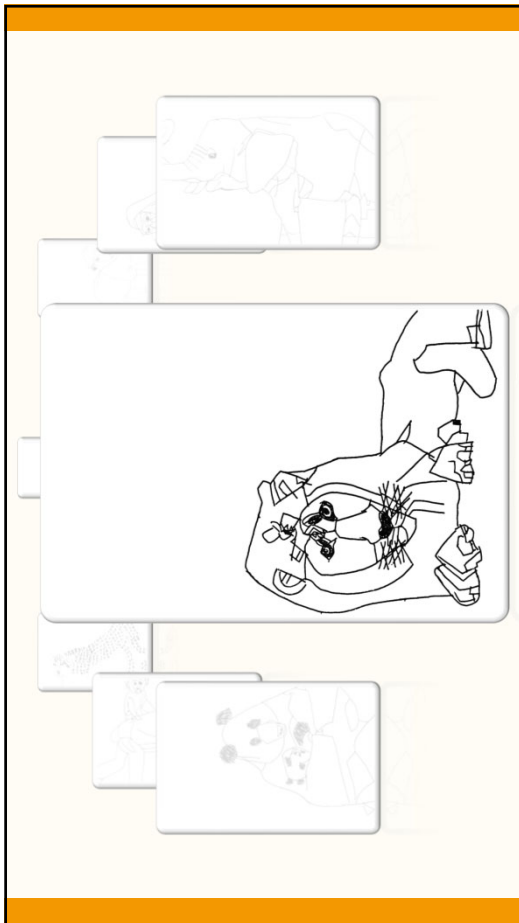
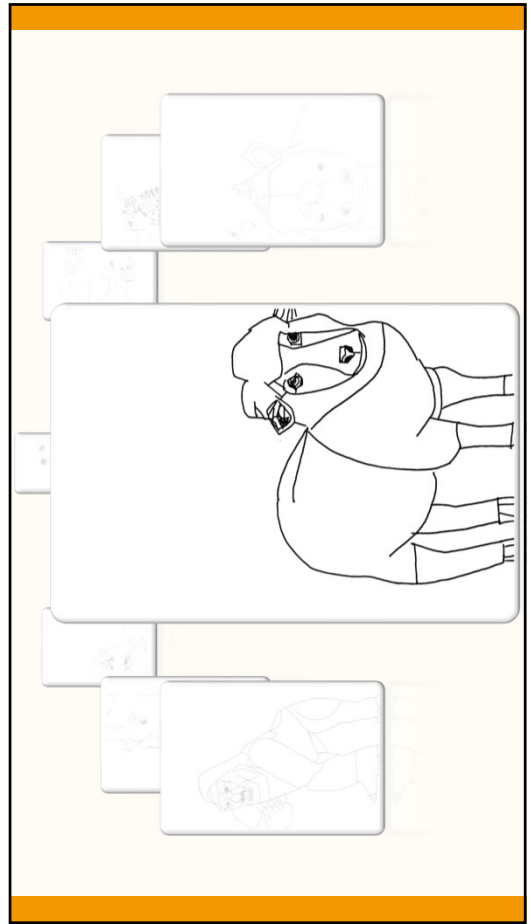
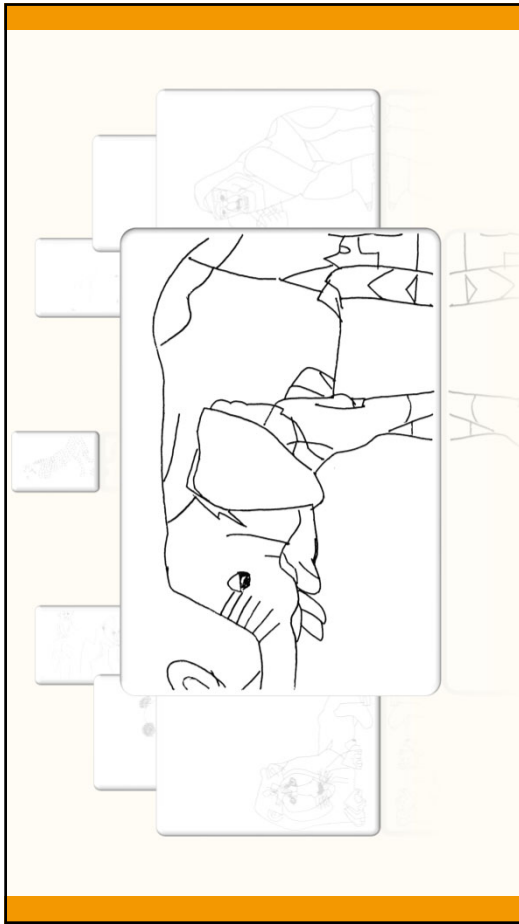
より多様で豊かな社会が作られる




祥福園A




祥福園A



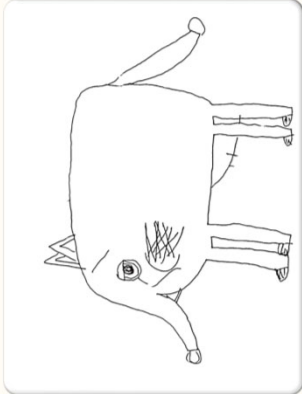
現在の作品



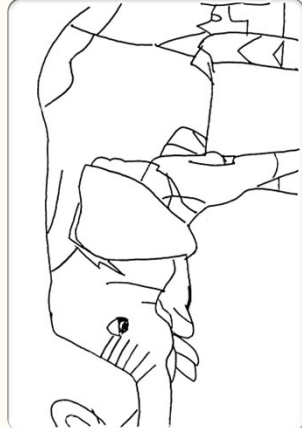
過去の作品




現在の作品



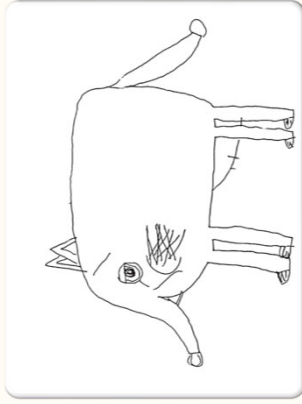
過去の作品



え？



これってレベルが下がってない？



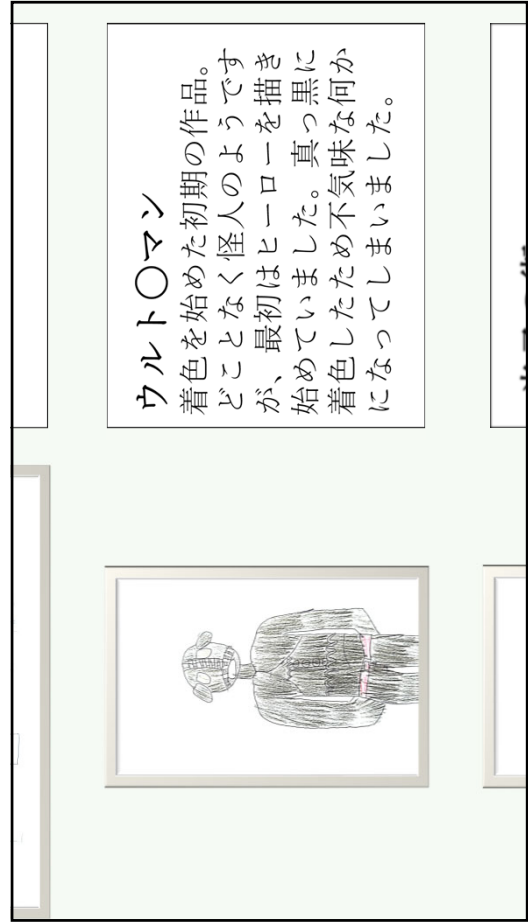
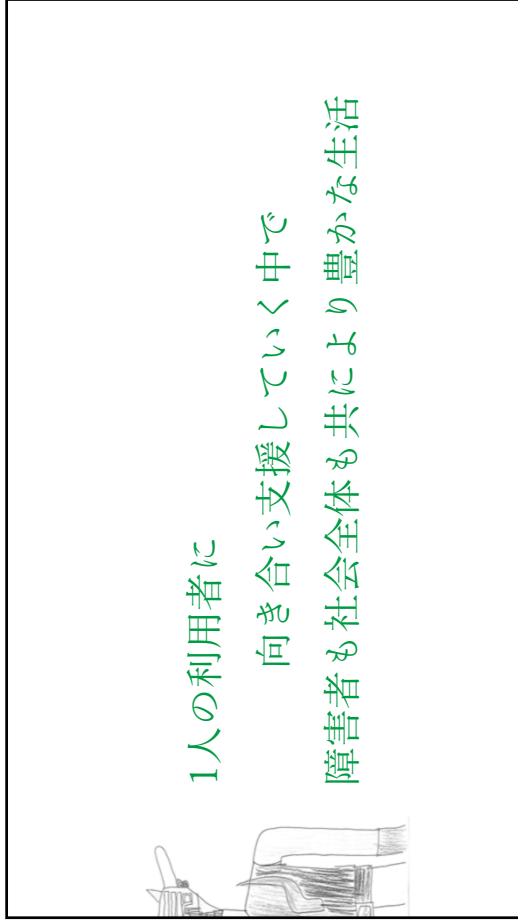
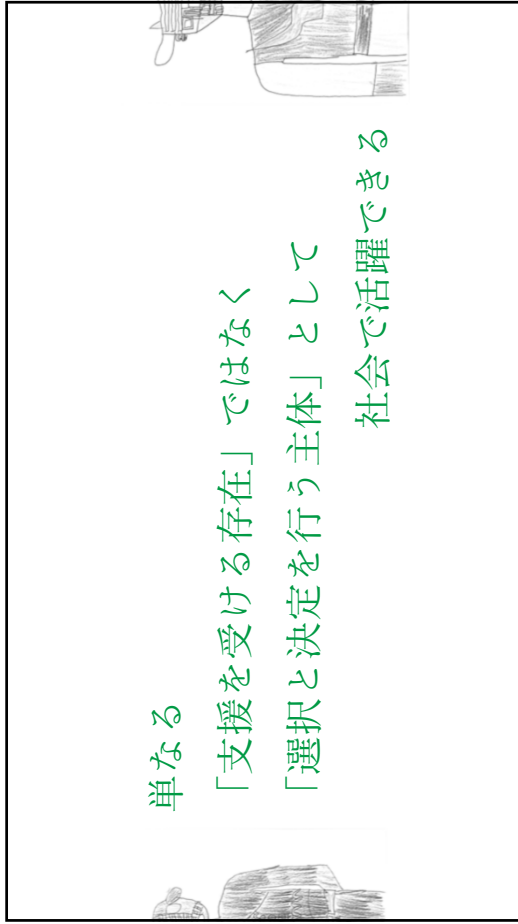


※非売品です

3. 「助けられる存在」として  
固定化されていないか？

支援はあくまで  
「選択肢」に過ぎず

その選択をする力を支援する



なりました。



**神輿**  
 神輿を描いてもらうように依頼したところ、アドリブで人物を加えてくださいました。それにより一気にお祭り感が出て楽しい雰囲気になりました。

白軸車

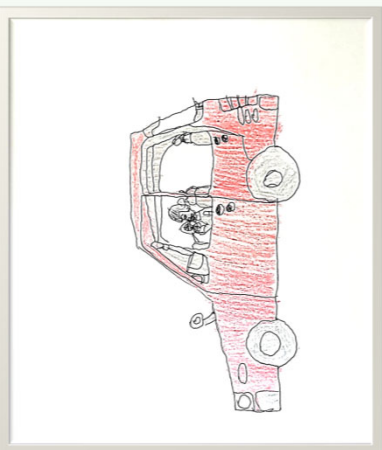
なりました。



**東京タワー**  
 金色の東京タワーの山手線で見た光景なのか、背後にビルが見えます。丸く囲っているような演出は望遠鏡で見た光景という要素が加えられているため。

白軸車

か加えられているため。



**自動車**  
 ご美家の自動車でしようか、あるいは色濃く記憶に残る自動車なんでしょうか？ ミラーやランプ類、ドアノブに至るまで細部も手を抜かず丁寧に描いています。

なりました。



**ルパ〇三世**  
 お得意のアニメキャラクター。描いている姿は得意げです。描いてもらいましたが着色も躊躇なく塗り分けができました。特に好きなキャラクターなのだと分かります。

